

# Party

Vol.11

発行月：平成24年9月

旭川厚生病院広報誌



## 目次

1. 巻頭言
2. 診療科から
3. 連携医療機関・関係機関のご紹介
4. 総合相談センター便り
5. 部門紹介～放射線技術科



### JA北海道厚生連の理念

JA北海道厚生連は、組合員ならびに地域住民の皆様生命と健康を守り、生きがいのある地域づくりに貢献してまいります。

### 病院の理念

私たちは「最も信頼され選ばれる」病院をめざします。患者さまの権利を尊重し、いつでも安心して受けられる医療の提供に努めます。地域住民の健康を守り、農村・地域社会の発展に寄与いたします。

### 基本方針

1. 患者様中心の医療と安全・快適な療養環境をつくります。
2. 高度医療を推進するとともに、総合周産期医療の確立に努めます
3. 健診事業の充実と高齢者福祉事業の取組みを推進いたします。
4. 医療機関相互の機能連携を推進いたします。
5. 職員の教育・研修を推進いたします。
6. 経営基盤の強化を図り、医療・保健・福祉活動を通じて地域医療に貢献いたします。

### 患者さまの権利

- 私たちは、患者さまの権利を大切に考えています。
1. 患者さまの人権を尊重いたします。
  2. 適切な医療を平等に受けることができます。
  3. 治療方法を選択することができます。
  4. 十分に納得いく説明をお求めになることができます。
  5. 医療上の個人情報を守ります。
  6. 転院、紹介を希望される場合は、必要な情報を提供いたします。



JA北海道厚生連旭川厚生病院

## 巻頭言

## 緩和ケア病棟開設

旭川厚生病院

副院長 中野詩朗



旭川厚生病院は22の科からなる総合病院で、新生児から成人まで、多くの疾病を対象に診療を行っています。なかでも日本人（男性）の2人に1人が発症し、3人に1人がそれにより死亡するといわれている『がん』の診断・治療・予防に力を入れています。

国は全ての国民が全国のどこにいても等しく適切な治療を受けられるように、がん対策基本法を平成18年に成立させ、がん対策推進基本計画を平成19年に策定しました。その基本計画の中で、がん診療連携拠点病院の整備と緩和ケアの充実がうたわれています。当院は平成20年に道北地域では初めて地域がん診療連携拠点病院の指定を受けましたが、それ以前より緩和ケアの重要性を認識し力を入れてきました。

緩和ケアとは体と心のつらさを和らげることです。薬を使用したりお話を聞くことで痛みや不安・悩み・悲しみなどの軽減・解消をめざします。対象はおもにがん患者ですが、患者家族の心のケアも担当します。がんに対する治療（手術・抗がん剤・放射線治療）と並行して行われる場合も多く、がんと診断された初期から始められます。当院では多職種（医師・看護師・薬剤師・臨床心理士・栄養士・理学療法士・医療ソーシャルワーカー）からなる緩和ケアチームが組織されています。緩和ケアが必要な入院患者さんのもとを訪れ、主

治医・病棟看護師とともに必要なケアを提供しています。さらに緩和ケア外来も開設しており、退院後の患者や他科通院中の患者にも対応しています。また当院では市内・近郊の訪問看護ステーションや在宅療養支援診療所と連携し、がん患者の在宅療養を積極的に支援しています。

一方でがんに対する積極的治療（手術・抗がん剤・放射線治療）が勧められなくなった患者さんに緩和ケアを専門的に提供する病棟があります。緩和ケア病棟・ホスピスと呼ばれますが、厚生労働省の定める施設基準を道内で満たすのは現在13か所にすぎません。ほとんどが札幌・道南に集中し、札幌以北・以東にはゼロの状態でした。

この緩和ケア病棟を平成24年10月1日、旭川厚生病院の7階に開設します。23床からなり全室個室です。家族控室・共用キッチン・浴室・面談室等を備え、専従の緩和ケア医と病棟看護師が安らかな療養環境を提供します。在宅療養中の患者の一時的な入院や急変時にも対応したいと考えています。緩和ケア病棟への入院には事前の申し込みと審査が必要です。申し込みには一定の条件があり、専従の医療ソーシャルワーカーがこれにあたります。

緩和ケアチームと緩和ケア病棟が緊密に協同し、在宅・外来・一般病棟・緩和ケア病棟でのがん患者の療養を支えたいと思います。

## 婦人科癌の腹腔鏡下手術について



産婦人科主任部長 光部 兼六郎

### はじめに

腹腔鏡下手術の技術的進歩は近年著しく、外科・泌尿器科領域において多くの癌種が標準術式と認められるようになった。婦人科悪性腫瘍に関しても、適切な症例選択がおこなわれれば開腹手術と同等の予後が期待されるとの報告が多く、欧米のみならず中国、韓国など多くの国で標準治療となっている。一方、わが国では婦人科悪性腫瘍に対する腹腔鏡下手術はいまだ保険収載されておらず、きわめて限られた施設でのみ行われているのが実情である。旭川厚生病院ならびに前任地での経験とデータを提示する。

### 当科における婦人科癌に対する腹腔鏡手術

#### (1) 対象

子宮頸癌：原則的にⅠB 1期（子宮頸部に限局／腫瘍径4 cm以下）並びにⅡA期（腔壁浸潤軽度）症例の一部であるが、腫瘍が大きい場合には術前化学療法を施行する。

子宮体癌：臨床進行期Ⅰ期（子宮体部に限局）からⅡ期（子宮頸部浸潤）と診断された症例。ただし腔からの回収が困難なほど子宮が大きい症例は除外する。

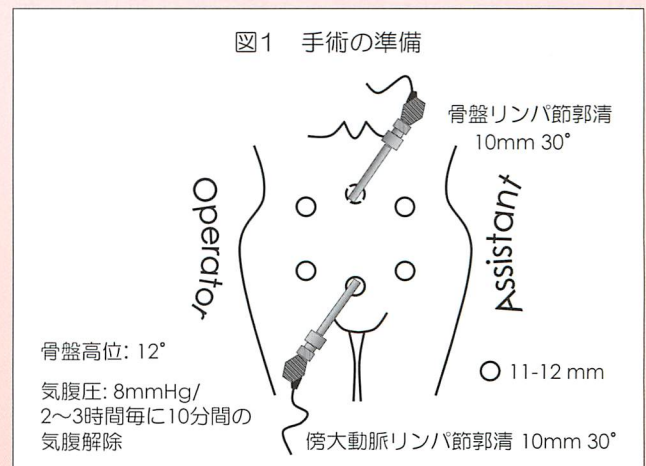
＊＊子宮頸癌・体癌のいずれにおいても、術前の画像診断にて明らかなリンパ節の腫大が疑われたものは開腹手術を行っている。

卵巣癌：原則として開腹による初回手術により原病巣を切除し、術後化学療法を数コース施行後に残存病変がないと判断されたものを対象として、腹腔鏡下後腹膜リンパ節郭清（腎血管下～骨盤リンパ節）を含む二次的なstaging surgeryを施行する。

#### (2) セッティングと使用器具

患者は長時間手術が負担にならないようにレビテーターを使用して砕石位とする。骨盤高位の角

度は12度に気腹圧は8 mmHgに設定している。ポートは6本使用し、患者左右の上・下腹部に1本ずつ、臍窩と恥骨上にも1本ずつのポートを設置して、これをカメラポートとする。術者は患者右側、第一助手は患者左側に立ち、第二助手はカメラ係として患者の頭側または股のところに位置する（図1）。

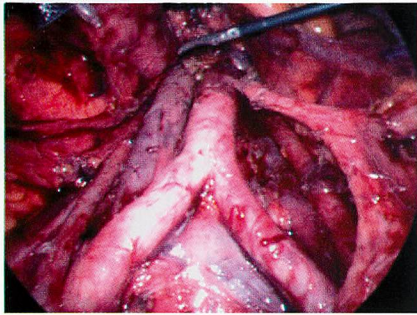


#### (3) 手術方法

子宮頸癌症例には広汎子宮全摘・下腸間膜動脈以下の傍大動脈リンパ節ならびに骨盤リンパ節の郭清を、子宮体癌症例には準広汎子宮全摘・両側付属器切除・腎静脈以下のリンパ節郭清を行う。卵巣癌ならびに卵巣癌を含む重複癌症例については、開腹による初回手術により原病巣は切除されているので、腹腔鏡下には準広汎子宮全摘（子宮残存症例のみ）・大網／虫垂切除・腎静脈以下のリンパ節郭清を施行する。

後腹膜リンパ節郭清は、経腹膜アプローチでおこなっている。開腹手術と同様に腹膜を切開して後腹膜腔を展開するが、特に頭側の大動脈リンパ節郭清時には腹膜を3-0 Dexon®糸で腹壁に吊り上げることで腹部大動脈、大静脈、IMAなどが露出され、容易に郭清操作を進めることができる（図2）。

図2 腹腔鏡下リンパ節郭清



腹膜切開縁を腹壁へ吊り上げることで腸管が頭側に圧排され、術野が確保されている。

(4) 成績 (子宮体癌について)

子宮体癌症例の手術経過、合併症について腹腔鏡下手術と開腹手術を比較した。手術時間は腹腔鏡群で有意に長く、出血量は腹腔鏡群が有意に少なく、術中・術後に同種血輸血が必要な症例は経験しなかった。また開腹への移行が必要となった症例も経験しなかった (表1)。

表1 術中経過・術中合併症ならびに摘出リンパ節数

	腹腔鏡群 (n=23)	開腹群 (n=20)
手術時間 (分)	419.5±19.7	321.8±22.8
出血量 (ml)	350.6±76.2	918.4±113.9
同種血輸血	0 (0.0%)	3 (15.0%)
術中合併症	2 (8.7%)	0 (0.0%)
摘出リンパ節数	54.3±3.7	69.0±4.9
PAN	13.7±1.8	15.7±1.9
PLN	40.5±2.7	53.3±4.1

術後経過に関しては、初回歩行、経口開始、常食開始のいずれも腹腔鏡群が早く、術後在院日数も短かった (表2)。術後合併症の発生率について有意差はみとめられなかった (表3)。

表2 術後経過

	腹腔鏡群 (n=23)	開腹群 (n=20)
初回歩行	2.3±0.1	3.4±0.3
経口開始	1.1±0.6	2.7±0.3
常食開始	6.3±0.3	10.4±1.0
術後在院日数	7.3±0.4	14.8±1.1

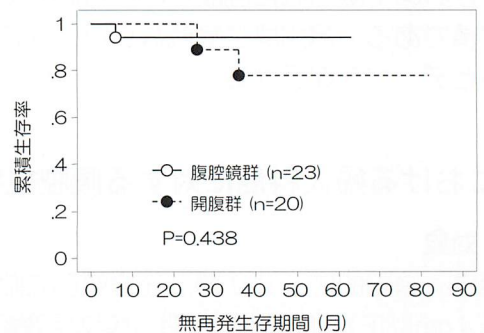
(術後日数)

表3 術後合併症

	腹腔鏡群 (n=23)	開腹群 (n=20)
術後合併症総数	5	10
腸閉塞	0	4
リンパ嚢胞	0	2
リンパ浮腫	1	3
創部感染・縫合不全	0	0
術後の血栓塞栓症	1	3
その他	3	2

術後再発ならびに予後については、腹腔鏡群 (観察期間の中央値36.0 ヶ月)・開腹群 (同25.0 ヶ月) のいずれにおいても原病死した症例はなかった。腹腔鏡群の1例と開腹群の2例に再発が確認されているが再発率、無増悪生存率のいずれに関しても両群間に有意差はなかった (図3)。

図3 無再発生存期間



終わりに

婦人科悪性腫瘍手術への腹腔鏡導入は、より少ない術中出血量と周術期合併症の減少、早期の退院ならびに日常生活への復帰に寄与する可能性がある。予後に関しても適切な症例選択が行われていれば開腹手術とほぼ同等と考えられる。今後の本術式の一般化に期待する。

## 連携医療機関・関係機関のご紹介 第2回

### 旭川厚生病院と当院の連携

医療法人社団みどりの里リバータウンクリニック院長 鈴木康之

#### 当院の歩み

当院は平成9年11月に、初めから医療法人となり、有床診療所と老人デイケア、訪問看護ステーションを同時に開設しました。当初から、外来と病棟での地域医療、在宅医療、介護保険を見据えた介護サービスを有機的に連携させることを目標としてきました。自院で診ている要介護者の施設入所の必要性が高まり、病棟をケアミックスとし、平成15年には、グループホームを開設しました。しかしその後、多くの介護サービス事業者が増え、グループホーム以外の介護サービスに対する当院の役割は少なくなったと判断し、外来診療と訪問系医療サービスに特化したコンパクトな組織づくりを目指し、病棟とデイケアを閉鎖し、訪問リハビリステーションを立ち上げて現在の体制になっています。

#### 各部門の紹介

- ①外来：午前中は院長と副院長（鈴木弘子）の二人体制で、午後は副院長の一人体制で診療しています。副院長は上部消化管内視鏡検査、慢性疾患の指導や漢方診療などに力を入れています。看護師も主任（石崎美幸）を中心に食事生活指導、認知症検査等でサポートしています。
- ②訪問診療：平日の午後と第2、4土曜日の午前中は院長が訪問診療に出歩いています。対象患者さんは約120名で、そのうち3～8名くらいが在宅ターミナル症例です。在宅での看取りは年間25～30名程度です。本年4月から今本医院、旭川神経内科クリニックと連携して24時間365日体制で対応しています。

- ③訪問看護ステーションこもれび：所長（山田マサ子）を中心に、5～6名体制で年中無休24時間365日対応しています。他の医療機関からの依頼も積極的に受け付けています。ターミナル等の医療依存度の高い症例に対応できるよう頑張っています。
- ④訪問リハビリステーションあすなろ：主任（赤坂香央里）をはじめ女性理学療法士3名体制で介護保険による訪問リハビリテーションを行っています。他の医療機関からも全市的に依頼を受付けており、利用者の笑顔を引き出すために頑張っています。
- ⑤グループホームそよかせ：ケアマネージャー資格を持つ介護福祉士が比較的多く、その人らしさを尊重して認知症介護をしており、ホームでの看取りも多数経験しています。

#### 旭川厚生病院との連携

外来や在宅で入院治療が必要な場合、当院の立地条件もありますが、厚生病院を希望される方が多くいます。いつも無理なお願いばかりでご迷惑をおかけしています。また厚生病院からは在宅へ移行する患者さん（特にターミナル）の紹介が多く、市内の基幹病院の中では圧倒的に多いのが現状です。そしてその在宅患者さんが入院を必要としたときには、必ず受け入れていただき、病床を持たない在宅医としては本当に心強いバックアップです。これからは緩和ケア病棟も開設され、いろいろなかたちでキャッチボール出来る連携になれるよう期待しています。そのためには我々も切磋琢磨して、患者さんや厚生病院の先生方のご迷惑にならないよう頑張るつもりです。



写真▶

前列左から：副院長 院長  
後列左から：訪問看護ステーション所長  
訪問リハビリ主任 外来主任



医療法人社団みどりの里  
リバータウンクリニック

住 所：  
旭川市旭神2条3丁目6番25号  
T E L：0166-66-0766  
診療科目：内科・外科



## 第2回

## 総合相談センター便り

旭川厚生病院では、皆様の困っていること等の相談に対応するため『総合相談センター』を設置しております。また、地域の往診医やケアマネジャー、訪問看護師の方々と連携を取りみなさまの支援をおこなってまいります。

今回は、『総合相談センター』の平成23年度活動実績についてお伝えします。

## ◎平成23年度活動実績

主に退院支援において看護師とMSW 7名で患者さんの支援を行っています。下記の図は昨年の退院支援を行った435名の患者さんの内訳です。

平成23年度	自宅	施設	転院	死亡	合計	
がん	115	11	45	37	208	
非がん	65	35	116	11	227	
分類	整形	15	4	55	1	75
	消化器	16	5	15	0	36
	COPD	3	3	3	0	9
	D M	3	1	2	0	6
	その他	28	22	41	10	101
合計	180	46	161	48	435	

がんの患者さんが208名、がん以外の疾患患者さんが227名の支援を行いました。特徴として、がんの患者さんの方が自宅へ退院する割合が多いことがあげられます。がん以外の患者さんの転院が116件と多いですが、半数は整形疾患の患者さんであり、リハビリ目的での転院が多いと考えられます。

がんの患者さんの支援は医療的なこと、例えば麻薬管理、点滴管理、腹水等の管理があり、訪問診療や訪問看護の利用が必要となる場合が多くあります。それでも住み慣れた自宅で過ごしたいという患者さんの希望に添うよう日々支援を行っています。

## ◎連携に向けた取り組み

## 「地域連携カンファレンス」

急性期病院の職員が退院後の患者さんの姿をイメージし易くなるとともに、地域の医療・介護・福祉関係者と顔を合わせ互いの役割の理解や意見交換を行うことを目的として開催しています。入院中から退院し、その後現在に至るまで患者さん

の状況を医師含め各担当者が時系列で発表し振り返りを行っています。患者さん等に了解をもらい写真を交えながらカンファレンスを行っており、退院後の様子がより伝わります。

去年は、がん末期で自宅で看取られた患者さんの事例と褥瘡があり介護量が多いが自宅で過ごされている患者さんの2事例を用いて開催されました。入院中に対応に困った処置が在宅でうまく対処できていたり、患者さんが見せなかった笑顔が見れたり、参加した職員から「自宅の様子がわかり良かった」、「今後の看護に活かしていきたい」等の感想が寄せられています。ある医師は「周りにこれだけの力があって支えられていることがわかった」と連携の重要性を知って頂くことができました。

## 「療養生活サポートセミナー」

患者さんがどこにいても安心して生活できるように、療養生活をサポートする体制を作ることを目的としています。対象は施設職員や在宅での支援を行う方々です。病院でなくてもできる医療的なことを知ってもらい、患者さんが安心して退院できるよう取り組んでいます。去年は「褥瘡予防」と「口腔ケア」について開催しました。テーマは参加者のアンケートを元に希望の多いものを取り上げるようにし、毎回体験をしてもらっています。

退院時に行う患者さんへの直接的な支援と、地域の関係者との連携による間接的な支援を行い、患者さんによりよい療養環境がどこでも提供できるように今後も取り組んでいきます。

# 放射線技師のお仕事



病院内で放射線の検査というと、胸やお腹・骨などを診るX線写真の撮影をイメージする方も多いと思いますが、日々様々な科の医師や看護師等と協力して沢山の検査に携わっています。主に携わっている検査には次のようなものがあります。

①一般撮影（胸部・腹部撮影検査）②X線テレビ造影検査（胃バリウム検査・注腸検査等）③CT検査 ④心臓カテーテル検査 ⑤血管造影検査 ⑥超音波検査 ⑦MRI検査 ⑧核医学・PET検査 ⑨放射線治療 ⑩体外衝撃波破砕検査（ESWL）⑪健診業務（バスでの胃バリウム検査や胸部撮影等）

などなど……

そして検査に付くだけでなく、検査に携わる医師・看護師の被曝量を管理し、国で定められた数値以上に被曝をしないように注意喚起をすることも大切な仕事の一つです。今回は沢山の業務の中でX線テレビ造影検査・CT検査・超音波検査・健診業務について紹介したいと思います。

## 1. X線テレビ造影検査（消化管造影検査・X線テレビ透視検査）

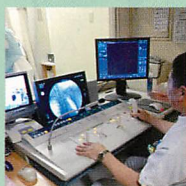
消化管造影検査では、胃バリウム検査・大腸バリウム検査（注腸検査）を行なっています。透視観察を行い、病変が無いかを見ています。また、X線テレビ透視検査では主に、消化器科・外科・泌尿器科・整形外科などの医師が行う検査で、透視装置を操作しています。



胃バリウム検査



注腸検査

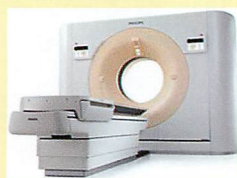


X線テレビ造影検査の様子

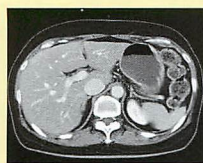
## 2. CT検査

X線を利用して、身体の輪切り像を得る検査です。医師の指示のもとで最適な画像を得るように撮影するタイミング・撮影方法に注意しながら検査を行なっています。また、特殊な画像処理を行なうことで平面の画像から三次元の立体画像を作成し、骨折や血管の走行などより細かな情報を得られるよう画像を作成しています。

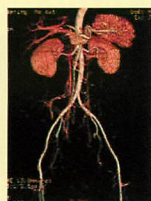
9月からは、256スライスの新しいCTが稼働します。以前のCTに比べて撮影時間が短くなり更に細かな画像を撮影することが可能になります。



新型CT装置  
(256スライス)



腹部のCT画像



血管の  
3D画像

## 3. 超音波検査

人の耳には聞こえない音波を利用して、体内を観察する検査です。放射線を利用しないため被曝をすることがありません。お腹の臓器から、心臓・血管・乳腺・甲状腺など肺や気体のある部分と骨以外の検査が可能です。検査中は呼吸や体の向きを変えるなど工夫をすることで見える範囲を広げ、多方向からの観察を行っています。



腹部の超音波画像



超音波検査の様子

## 4. 健診業務

病院内（施設内）と病院外（巡回）での健診があります。巡回健診では道北地方を中心に月曜日から金曜日まで専用の健診バスに乗り各地域を回っています。

施設内健診（放射線に関わるもの）

- ①胸部撮影
- ②胃バリウム検査
- ③腹部超音波検査

巡回健診（放射線にかかわるもの）

- ①胸部撮影
- ②胃バリウム検査
- ③骨密度検査  
(一部地域)

オプション検査

- 1. 肺ドック（肺CT検査）
- 2. 脳ドック（脳MRI検査）
- 3. マンモグラフィ検査（女性のみ）
- 4. 骨密度検査



# JA北海道厚生連旭川厚生病院 外来診療体制表

平成24年 8月 1日 現在

## 受付時間

新患受付 午前部 8:15~11:30 午後部 12:45~15:00  
 再来受付 午前部 7:45~11:30 午後部 12:30~15:00  
 (診察時間 午前部 8:30~ 午後部 下記参照)

- 各診療科ごとに診療体制が異なります。
- 下記表の●が一般外来として受診可能な時間帯です。(△は予約制の一般外来です)
- 特殊外来は予約制です。下記特殊外来一覧をご参照ください。

	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
血液・腫瘍内科	●		●		●		●			
代謝・内分泌内科	●	△	●	△	●	△	●	△	●	△
呼吸器科	●	△	●	△	●	△	●	△	●	△
消化器科	●	△ 特殊外来	●	△	●	△ 特殊外来	●	△	●	△
循環器科	●	△	●	△ 特殊外来	●	△ 特殊外来	●	△ 特殊外来	●	△
神経内科									●	
小児科	●	特殊 外来	●	特殊 外来	●	特殊 外来	●	特殊 外来	●	特殊 外来
外科	●	△	●	△	●	△	●	△	●	△ 特殊外来
乳腺外科						△		△ 第2・4	△	△
呼吸器外科	●		●		●		●		●	
整形外科	●		●		●		●		●	
産婦人科(婦人科)	●		●		●		●		●	
産婦人科(産科)	●		●		●	特殊 外来	●	特殊 外来	●	
皮膚科	●	● 14:00~	●	● 14:00~	●	● 14:00~	●		●	● 14:00~
形成外科		● 13:00~	●				●			● 13:00~
泌尿器科	●	△	●		●		●		●	△
耳鼻咽喉科	●		●		●		●		●	
眼科	●				●		●		●	
精神科	休診中									
麻酔科	●				●				●	
放射線科	●		●		●		●			
緩和ケア科	●	△	●	△	●	△	●	△	●	△

## ●特殊外来一覧

- 〔消化器科〕  
 肝臓(水) 13:30-16:00 (予約制)  
 胆臓(月) 13:30-16:00 (予約制)
- 〔小児科〕  
 慢性疾患(竹田津Dr) (毎月第3木)  
 13:30-16:30 (予約制)  
 慢性疾患(月・火・木)  
 13:30-15:30 (予約制)  
 予防接種(月) 13:30-15:00 (予約制)  
 循環器(旭医出張医)(第2・第4水)  
 13:30-15:30 (予約制)  
 1ヵ月健診(水) 13:30-15:00 (予約制)  
 内分泌(毎月第2・第4木)  
 13:30-15:30 (予約制)  
 発達(木) 13:30-15:30 (予約制)  
 神経(月) 13:30-15:30 (予約制)  
 (木) 8:30-15:30 (予約制)  
 乳児健診(火・金) 13:30-15:00  
 乳児健診(佐藤Dr)(毎月第1木)  
 13:30-15:00
- 〔外科〕  
 乳腺検診(金) 13:00-16:00 (予約制)  
 ストーマ(第3金) 13:00-16:00 (予約制)  
 ” 【新患可】※  
 ストーマケア(金) 13:00-16:00 (予約制)
- 〔乳腺外科〕  
 乳腺外来(第2・第4木) 13:30-16:30 (予約制)
- 〔産婦人科〕  
 母親学級(火・木)  
 4回1コース 13:30-15:30  
 産後1ヵ月健診(水) 14:00-16:00 (予約制)
- 〔神経内科〕 紹介患者のみ  
 ※【新患可】以外の外来は予め午前外来受診となります。  
 ※麻酔科の診察時間は9:30~11:30となります。  
 ※小児科の内分泌外来は毎月第4木曜日で診察します。  
 ※放射線科の金曜日午前は休診となります。



## JA北海道厚生連旭川厚生病院

〒078-8211 旭川市1条通24丁目111番地3  
 TEL:(0166)33-7171 FAX:(0166)33-6075

## 旭川厚生病院ホームページアドレス

<http://www.dou-kouseiren.com/byouin/asahikawa/>



※PCサイトへ接続されるQRコードの為、うまく表示されない場合があります。